

株初心者のネット株検証作業は2日目

こんにちは akamutu です。ブログ

{ 今日初めて参加下さった方には、ありがとうございます。過去の
記事を

レポートにまとめてあります。ブログサイトからご覧下さい。}

珍しく日経平均が終了まじかに戻して来ました。

今までは、オーバーナイトを嫌った短期資金の後場売りの流れでし
た。

株初心者や、ネット株のデイトレの流れです。

ましてや、今日は週末、米国市場は祝日の休みと来てます。

この土、日をマタイだ資金の保留は、長期資金の動きか？

アナリストレポートを目を通しておきましょう！

株初心者に一言、市場分析はその道の専門家に任しましょう。

ネット株の動きも彼らが分析してくれます。

投資家はそれを、上手に使うだけ！

今回は2回目の検証作業になります。

週末ですから覚悟してましたが、楽しみにになりました。

これから、出来高ランキングを出して検証します。

その前に前回1日目の結果は下記の通りになりました。

(日経平均－110円))

11.26日 買い値 ロス (-0.5%) ロス (+0.5%) 利反転 (-1%)

1) 8306 490円 495円 (+1%)

2) 5401 見送り

3) 7011 見送り

4) 9984 1335円 1342円 (+0.5%)

5) 6674 374円 372円 (-0.5%)

次回からエクセルデータでアップします。

それでは始めましょう、今回は6位～10位です。

いつものように、こちらからご覧下さい。

<http://akamutu.net/kensyou2.pdf>

5	6752	パナソニック(株)	電気機器	15:00	1,144	-140	-
6	7012	川崎重工業(株)	輸送用機器	15:00	204	+13	
7	7011	三菱重工業(株)	機械	15:00	387	+20	
8	5713	住友金属鉱山(株)	非鉄金属	15:00	908	+86	-
9	8002	丸紅(株)	卸売業	14:59	334	+24	
10	9104	(株)商船三井	海運業	15:00	507	+29	

11. 28日出来高ランキング (日経平均+138円)

今日は6位～10位を検証します。

検証結果が akamutu の予想を超えて、次の章のスキルアップの

サンプルが出てしまいました。

「メンタル投資法」のここまでの解説ではチラチラとしか、

解説していません。

正直困りました。

ですが、ここまでの解説の範ちゅうで進めるしかありません。

不明な所は、次のスキルアップの章まで持ち越しとします。



6位の銘柄です。

25日線がもみあいパターンから上昇パターンに変化しています。

もみあいパターンは、スローストを使いますから、買いサインが出ていません。

もみあいパターンは、買いと売りの均衡が保たれた状態です。

いずれ、どちらかに均衡は崩れます。

今日の場合は、市場が始まってもみあいから上昇に変化しています。

市場メンタルと個別銘柄の関連と、パターン変化の応用はスキルアップの章の内容になってます。

このチャートでは、2の矢印で始値ラインを貫いています。

上昇パターンに変化すると判断できたら、ここが買いになります。

次の章で変化のシグナルを解説します。

残念ですが、今回は見送り。



第7位の銘柄です。

第6位と同じパターンです。

上昇パターンに変化すると判断できたら、1の矢印が買いになります。

上昇パターンは25日線と始値ラインを抵抗線として使います。

残念ですが、解説が追いついていません。

ここも、見送り

。



第 8 位の銘柄、

困りました。まったく同じパターン。

こんな日もあるんですね？

このチャートは、1の矢印が、25日線でサポートされてます。

つぎの反転の陽線が買いになります。

ですが、もみあいが増えたと判断した場合です。

その解説は、まだしていません。

したがって、ここも見送りです。



やっと買える銘柄が出てきました。

第9位です。

上昇パターンで、1の矢印が始値ラインを貫いてきました。

322円で買いです。

すぐさま-5%の逆指値、320円を設定します。

2の矢印で、1%の上昇を確認、逆指値を+0.5%に修正。

3の矢印で2%の上昇確認、反転指値 1%の3円を設定。

4の矢印で327円で売却される。

結果 = + 1 . 5 5 %



第10位の銘柄です。

これも、上昇パターンに変化すると判断できたら、1の矢印の次の反転陽線が買いになります。

25日線まで下げて、サポートされてます。

残念ですが、これも今回は、見送りとします。

しかし、5つの銘柄で、1つ買えただけ。

まいりました。

今日の銘柄は、貴重なサンプルとなります。

日経平均や、トピックスの5分足と見比べて、その関連性を比較して下さい。

市場メンタルや、業種別、テーマ別の関連と、スクリーニングの技法は、スキルアップの章で取り上げます。今日は期待ハズレでした。

それでは、次の検証まで、グッラック